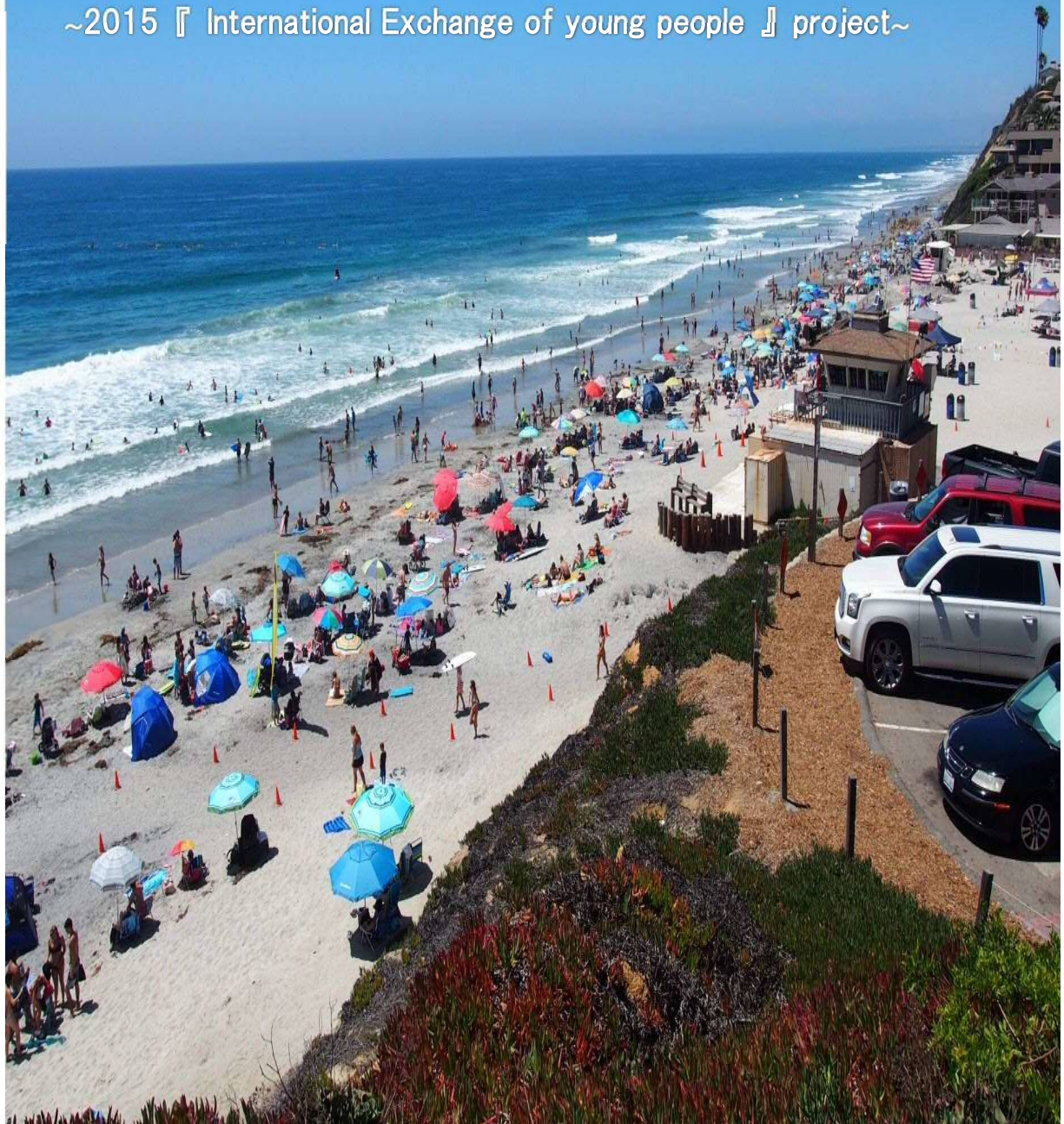


2015

姉妹都市教育交流事業研修報告書

~2015 『 International Exchange of young people 』 project~



天草市教育委員会

— 目 次 —

■ 姉妹都市交流の経緯・姉妹都市の概要

P 1、2

■ 研修日程

P 3、4

■ 研修感想文

- | | | | | | |
|---|--------|------|------------|------------|-------|
| 1 | 本渡中学校 | (3年) | きのした
木下 | わか
稚 | P 5~ |
| 2 | 本渡中学校 | (2年) | なかがわ
中川 | けいいち
慶一 | P 11~ |
| 3 | 牛深中学校 | (2年) | きたむら
北村 | そら
空 | P 17~ |
| 4 | 牛深東中学校 | (3年) | やまぐち
山口 | なつこ
夏子 | P 22~ |
| 5 | 五和中学校 | (3年) | のじま
野嶋 | だいすけ
大佑 | P 28~ |
| 6 | 五和中学校 | (3年) | さかもと
坂本 | なこ
菜子 | P 33~ |

■ 引率総括

《引率教員》 牛深中学校 教諭 くわはた 桑畑 ごうた 剛太 P 38~

姉妹都市交流の経緯

エンシニタス市との姉妹都市交流は、トライアスロンを縁として始まり、昭和63年以来、旧本渡市との間で行われてきました。

この交流関係を天草市でも受け継ぐことになり、平成18年5月29日に天草市で、さらに同年9月29日にはエンシニタス市で、それぞれ姉妹都市締結調印式を行いました。

調印式では今後、行政や教育、産業、経済、消防、医療などの各分野における交流を行いながら、両市民間の相互理解と友情を深め、両市の恒久的な友好関係を樹立することを誓いました。

エンシニタス市（カリフォルニア州）の概要

◆ 位置、気候

アメリカ合衆国の西海岸に位置し、年間の平均気温は22度と温暖で、年間を通して雨が少なく（年間降雨量は230ミ程度）、非常に過ごしやすいところです。

一方、雨が少ないので水の確保が一番の問題であり、大半は北カリフォルニア川ウォータープロジェクト、コロラド川用水路やホッジ湖などから供給されています。

（天草市は、年間平均気温は16.2度、年平均降水量は1,915ミ程度）



◆ 人口

人口は、約60,000人。（天草市は、約86,000人：H27.4末現在）西海岸の中心都市ロサンゼルス市から約160km、南のサンディエゴ市から約40km程度の距離にあり、静かな住宅地として人気が高い。

◆ 産 業

農業が主体で、ハウス栽培による菊・ゆりのほか、特産のポインセチアなどが栽培されており、ロサンゼルス・ニューヨークをはじめ世界各国へ出荷されています。



◆ 商 業

新興都市であるため店舗は意外と少なく、海岸通りに面した道路に衣料品店、レストランなどがあります。内陸のほうには大きなスーパーがあり、食料品から全て整っているようです。



◆ 観 光

カリフォルニア有数のサーフスポットとして名高い「Swami's Beach」があり、サーフィン文化が色濃い。年間を通じ、多くのサーフコンテストが開催されます。



古きアメリカの雰囲気をも残すエンシニタス市は、今では、ヨガとサーフィンの街として有名です。健康に気を使う人々が多く住むことで知られており、たくさんのヨガスタジオ、ベジタリアンのレストラン、エコショップが建ち並んでいます。Surf Cityとしても正式に認定されていて、世界中からサーファーが集まる街で、海の近くに住みたいという人達が憧れる地域です。

ロサンゼルスなどの大都市に比べ治安状態が良く、落ち着いた街で、市民の心の豊かさ、温かさを感じることができます。

天草市とエンシニタス市とは、これまで培われてきた長い歴史の中で大きな違いはあるものの、海に面した自然環境や落ち着いた住宅街など、よく似た環境であると言えます。

Summer 2015 Amakusa Student Delegation Itinerary

2015 天草市派遣団日程

Monday, August 3

7:30am Depart Amakusa by official car for Fukuoka Airport
0:00pm Arrive at Fukuoka Airport
2:20pm Depart Fukuoka by JL6234 for Kansai International Airport
3:25pm Arrive at Kansai International Airport
5:30pm Depart Kansai by JL60 for Los Angeles Intl' Airport
~ the international date line ~
0:20pm Arrive at Los Angeles Intl' Airport
Depart for City Hall
3:30-4:00pm Delegation arrive at City Hall
4:00-4:30pm Welcome reception(Poinsettia Room)
Meet host families, Host families take home

Tuesday, August 4 -Meet the Mayor and Downtown Encinitas-

1:00pm-2:15pm City hall visit and meet the Mayor (casual dress)
2:30pm-4:45pm Walking tour of downtown Encinitas, including Self Realization Fellowship Meditation Gardens, Shopping at Hansen Surf, meet editor of Encinitas Magazine and pick up copies, Boat Houses, Original School House, frozen yogurt/slurpees.
5pm - Host families pick up at City Hall

Wednesday, August 5 -Train Ride to San Diego-

7:30am host families drop off at City Hall
7:58am Coaster train to downtown San Diego (casual dress, bring a light jacket or sweatshirt)
8:45am Arrive Santa Fe Depot downtown San Diego
8:50am Walk and explore Embarcadero/Midway Carrier/Seaport Village
10:00am Check in for San Diego Seal Tours at Seaport Village
10:30am-12pm Seal Tour downtown San Diego and San Diego Bay
12:27pm Trolley to Old Town(10 minutes small train trip)
12:45pm Lunch in Old Town(Mexican food)
1:45-3:30pm Visit shops, take pictures, see historic Old Town San Diego
3:51pm train to Encinitas
4:29pm train arrives in Encinitas
4:35pm- Host families take home

Thursday, August 6 -Surfing and Horses-

9am host families drop off at City Hall
9:15am Surf lessons at Moonlight Beach (bathing suits)
12:00pm Lunch at In-N-Burger Encinitas
1:30pm Little Oaks Equestrian Park horse ride
3:30-4:30pm Coffee/tea at Pannikin Coffee (host families pick up from there)

8月3日(月)

午前 7:30 公用車にて福岡空港へ出発
午後 0:00 福岡空港到着
午後 2:20 JL6234便にて関西国際空港へ出発
午後 3:25 関西国際空港到着
午後 5:30 関西国際空港よりJL60便にてロサンゼルス国際空港へ出発
~ 日付変更線 ~
午後 0:20 ロサンゼルス国際空港到着
専用車にてエンシニタス市役所へ出発
午後 3:30-4:00 市役所到着
午後 4:00-4:30 歓迎レセプション
ホストファミリーと対面、ホストファミリー宅へ

8月4日(火)

午後 1:00-2:15 市役所訪問、市長面談(平服で)
午後 2:30-4:45 エンシニタスの街中を徒歩散策
・セルフ・リアリゼーション・ガーデンズ
・ハンセン・サーフ・ショップ
・エンシニタスマガジンの編集者と面談
・ポートハウス、オールドスクール
・スラビー(フロズンヨーグルト)
午後 5:00 ホストファミリーが市役所に迎えにくる

8月5日(水)

午前 7:30 ホストファミリーに市役所に送ってもらう
午前 7:58 サンディエゴ市内へ列車で(服装:平服、軽いジャケット等も持って行く)
午前 8:45 サンディエゴ市内到着
午前 8:50 散策(エンバカデロ、シーポートヴィレッジなど)
午前10:00 シールツアー(アザラシ)にチェックイン
午前10:30-12:00 シールツアー
午後 0:27 トrolleyでオールドタウンへ(10分程度)
午後 0:45 オールドタウンでランチ(メキシカンフード)
午後 1:45-3:30 オールドタウンを散策
午後 3:51 エンシニタスへ列車で
午後 4:29 エンシニタスに到着
午後 4:35 ホストファミリー宅へ

8月6日(木)

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう
午前 9:15 サーフィン練習(ムーンライトビーチ)(水着)
午後 0:00 ランチ(イン・アンド・アウト・バーガー)
午後 1:30 乗馬公園で乗馬
午後 3:30-4:30 Pannikin Coffeeでコーヒー(ティー)タイム
(ホストファミリーはそこに迎えに来る)

Friday, August 7 -Volleyball and Hike-

9am host families drop off at City Hall
10-11:30pm Beach volleyball clinic at Moonlight Beach
12:00pm Visit GoPro offices in Cardiff
12:30pm Lunch at Besta Wan Pizza Cardiff
1:30-3:30pm Double Peak Park hike in San Marcos- views of all
of San Diego
4pm return to City Hall
Host families take home

Saturday, August 8 -Japanese Festival and Sendoff-

Free day with host family
1:00pm - Japanese Festival at Library
3:00-3:30pm- Video Conference call with Encinitas/Amakusa Mayors,
delegates and families
3:30-6pm Free time with families
6:00-7:30pm- Pot Luck Dinner and party at Village Park clubhouse

Sunday, August 9 -Depart for Los Angeles and Amakusa-

9:00am After breakfast, Host families drop off at City Hall
9:30am Delegation leaves for Los Angeles

Sightseeing after arrival at Los Angeles
(Universal Studios Hollywood, Little Tokyo etc.)
9:00pm Delegation arrives at Mayfair Hotel

Monday, August 10

9:00am After breakfast at hotel transfer to Los Angeles Airport
(Buy a souvenir on the way to Airport)
11:45am Arrive at Los Angeles Intl' Airport
1:45pm Departing Los Angeles by JL61 for Narita

Tuesday, August 11

4:55pm Arrive at Narita Intl' Airport
6:55pm Departing Narita by JL3057 for Fukuoka
8:55pm Arrive at Fukuoka Intl' Airport
9:40pm Depart on subway for hotel in Fukuoka
10:00pm Arrive at hotel

Wednesday, August 12

10:00am Depart hotel by official car for Amakusa City Hall
3:00pm Arrive at Amakusa City Hall

8月7日 (金)

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう
午前10:00-11:30 ビーチバレー講習会 (ムーンライトビーチ)
午後 0:00 GoPro事務所訪問 (カーディフ)
午後 0:30 ランチ (Besta wan Pizza)
午後 1:30-3:30 ダブルピークパークでハイキング
(サンディエゴの景色一望)
午後 4:00 市役所に戻る、ホストファミリー宅へ

8月8日 (土)

ホストファミリーと自由に過ごす
午後 1:00 ジャパニーズフェスティバル (図書館)
午後 3:00-3:30 ライブビデオ会議
(両市長、派遣団、家族で呼び掛けあう)
午後 3:30-6:00 ホストファミリーと自由時間
午後 6:00-7:30 お別れ夕食会

8月9日 (日)

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう (朝食後)
午前 9:30 訪問団専用車にてロサンゼルスへ向け出発

ロサンゼルス到着後、市内研修
(ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド、リトル東京など)
午後 9:00 MAYFAIR HOTEL (メイフェアホテル) 到着

8月10日 (月)

午前 9:00 専用車にてロサンゼルス国際空港へ出発 (朝食後)
(途中スーパー等により、お土産購入)
午前11:45 ロサンゼルス国際空港到着
午後 1:45 JL61便にて成田空港へ出発

8月11日 (火)

午後 4:55 成田空港到着
午後 6:55 成田空港よりJL3057便にて福岡空港へ出発
午後 8:55 福岡空港到着
午後 9:40 地下鉄にて福岡市内ホテルへ
午後10:00 福岡市内ホテル到着

8月12日 (水)

午前10:00 公用車にて天草へ出発
午後 3:00 天草市役所到着



『 姉妹都市交流を終えて 』

本渡中学校3年

きのした わか
木下 稚

私は天草市姉妹都市教育交流事業の研修生として、アメリカのエンシニタス市に行ってきました。「外国の文化に触れてみたい、英語力をさらに高めたい」そんな思いで、この交流事業に参加しました。出発前のアメリカに対するイメージと、帰国後のアメリカに対する思いは大きく違い、溢れるほどの夢や希望をアメリカという1つの国に抱くようになりました。「アメリカってこんな国だったんだ！」と驚きと発見の連続でした。

〔8月9日（1日目）〕

午前7時半、緊張と期待で胸を膨らませながら、福岡空港へ向かう車に乗りました。車内では、研修生の住んでいるそれぞれの地域のことや、アメリカに着いたら何をしたいかなどのお話で盛り上がり、いつの間にか打ち解けることができました。

正午頃、福岡空港に到着しました。そして、少し緊張しながら大阪行きの飛行機に乗り込みました。

関西空港に着いて、出国審査をするために列に並んでいるときでした。後ろから突然女性2人に英語で話しかけられ、私たちは何と返せばいいかわからず、黙っていると、引率の先生が気づき対応してくださいました。英語で話しかけられるとはこういうことなんだと私は改めて実感し、少しだけ不安になりました。手続きも無事終了し、いよいよロサンゼルス行きの飛行機に乗り込むことになりました。移動中は、映画を見たり音楽を聴いたりして、およそ12時間を過ごしました。とても長くきつかったです。飛行機から降りると周囲は外国の方で溢れ、日本語は一言もきこえてきませんでした。

ロサンゼルスの入国審査では、ほとんど会話ができませんでした。だから、ホームステイ先で本当にやっていけるかととても不安になりました。それでも無事に入国審査を済ませ、エンシニタス市に向かいました。1時間ほどで市役所に着きました。そこにはすでにホストファミリーが迎えに来てくれていました。ホストファミリーと挨拶を交わした後、市役所から一

人一人に水筒とリュックサックと、オリジナルTシャツをいただきました。エンシニタスはエコな町で、リュックサックと水筒があれば、ビニール袋とペットボトルが不要になるため、私たちにプレゼントしてくれたのだそうです。

私たちのホストファミリーは、Hoover（フーパー）という父、母、息子、そして娘の4人家族でした。最初はしっかり英語で会話できるか心配でしたが、みんなやさしく接してくれました。さらに、ベラという犬と猫2匹とオウムと亀とうさぎ2匹と鯉が家で飼われていました。少し移動したところで馬も2頭飼っているということでした。私は動物が大好きなので早く仲良くなりたいと思いました。

ホストマザーのスザンナと娘のレナが家を案内してくれました。たくさん部屋があり、天井も高くて大きかったです。私の部屋と私専用のバスルームも準備してくれていました。夕食は近くのレストランでピザを食べました。「子供用の大きさと、スモールと普通のどれがいい？」と聞かれて、子供用はさすがに小さいかなと思いスモールを頼んだら、とても大きなピザが運ばれてきました。疲れのせいもあって、2切れしか食べられませんでした。

〔8月4日（2日目）〕

2日目は、レナと2人でショッピングをしました。しっかり言葉が通じるか心配だったけど話していくうちにお互い心を許すようになりました。レナとは同い年なので、話が合うし、好きなものもよく似ていました。

昼からは、市の周辺を散策しました。市役所の中を見て回っているとき、お忙しい中でも皆さんが笑顔で挨拶をしてくださいました。他にも、お店を回っているとき、笑顔で歓迎してくださったり、プレゼントをいただいたりして、エンシニタスの方々の優しさを感じる1日となりました。

その日の全日程が終わってから、スザンナが近くのプールに連れて行ってくれました。プールにはすでにレナを含め、何人かが遊んでいました。レナ以外とは初めて会ったのに、すぐにしゃべりかけてくれたので、嬉しかったです。帰りは水着のまま車に乗って帰りました。アメリカではこれが普通だというので驚きました。

夜は、プールで会った、キヨミとジュリアと研修生の一人である菜子とレナと私の5人で、ショッピングをしたり夕食を食べたりしました。とても楽しい時間でした。

〔8月5日（3日目）〕

この日は、電車でサンディエゴに行きました。そこで水陸両用の車に乗

って、シールツアーをしました。海ではたくさんのアザラシを見ることができました。昼食は、オールドタウンで取りました。メキシコ料理はあまり口に合わないイメージがあったけど、とてもおいしかったです。ただ、他のホストファミリーのネイトが黄色くて可愛い形をした野菜を食べていたので、まねをして食べてみたら、とっても辛くて涙が出ました。

夕食はイタリア料理でした。メニュー表を見ていると、スザンナが「サラダ」といったのがわかったので、まずはサラダを頼むんだと思って、マンゴーとエビとアボカドのサラダを頼んだら、1食分の大きなサラダが出てきて、その日の夕食はサラダだけになってしまいました。自分の英語力もまだまだだなと思いました。

〔8月6日（4日目）〕

朝からスザンナとレナと犬のベラと一緒に馬小屋に行きました。ホストファミリーが飼っている2頭の馬はとても可愛かったです。私は、馬の体をこすってあげました。馬がこすってほしいところを私のブラシのところまで移動してきたので、とてもかわいかったです。間もなく、みんなが来て乗馬をすることになりました。乗馬をする順番待ちをしている間は、馬を洗ってあげたり、たてがみを結ってあげたりしました。乗馬は初めてだったけど、とても楽しかったです。その後、サーフィンをしました。前日にスザンナとブギーボードしたので、とても楽しみでした。海に着くと、インストラクターが乗り方をいろいろ教えてくれました。いざ海に入ると、波がとても高くて呑み込まれそうになりましたが、何度かやっていくとすぐに乗れるようになりました。

夜はレナと菜子と私の3人でショッピングをしました。そのころにはもう、「このお店はいいね」「ここはとても高価なお店なんだ」とか、「さっきの店員さんの口紅の色がすごかったね」などと、身近な会話がごく自然にレナとかわせるようになっていました。私は新しい友達ができみたいで、なんだかすごく嬉しかったです。

〔8月7日（5日目）〕

この日はビーチバレーとハイキングがありました。ビーチバレーでは、みんなと声をかけ合ったりハイタッチをしたりして、他のホストファミリーたちとも仲良くなることができました。ハイキングでは、ダブルピークパークというところに登りました。上からの景色はとても美しかったです。

夜は、ロサンゼルスに行って、Corvette というレストランに行きました。1950年代の雰囲気再現されているお店で、かわいい制服を着た店員さんがたくさんいました。楽しいサプライズがいっぱいあって、日本

にはないようなお店だったので必ずまた行きたい！と思いました。

〔8月8日（6日目）〕

午後からジャパニーズフェスティバルが、市の図書館でありました。私は浴衣を着ていきました。ホストファミリーが、「きれいだ」と褒めてくれました。「この浴衣をレナにプレゼントしたい」とスザンナに言うと、泣いて喜んでくれたので嬉しくなりました。図書館にも浴衣を着ている人や、日本語をしゃべっている外国の人たちがいたりしました。その後、それぞれのホストファミリーと私たち全員が集まって、お別れパーティーをしました。「だるまさんが転んだ」や「色おに」などの日本の遊びをしたり、日本対アメリカでサッカーをしたりして、最高のお別れパーティーになりました。家に帰ってから、ホストファミリーみんなで「ジュラシックパーク」を観たり、レナに浴衣の着方を教えてあげたりして、とてもとても心に残る1日でした。

〔8月9日（7日目）〕

この日はとうとうホストファミリーと、お別れの日でした。スザンナとレナと犬のベラが、見送りをしてくれました。別れ際にハグをしているときに、今までの思い出が蘇ってきて涙が溢れました。その後は、ハリウッドでユニバーサルスタジオに行ったり、チャイニーズシアターに行ったりして長いようでとっても短かった10日間の全日程を終えました。

〔研修中での気づき〕

● 環境保全への意識

道路には10メートルぐらいの間隔で、ごみ箱が設置されていました。

また、買った品物はほとんど紙袋か、持参のエコバックでした。ペットボトルも、ほとんどがエコな素材で出来たものでした。エンシニタスの人々は、エンシニタスのきれいな海を守るため、徹底した環境への取り組みを行っていました。同じく海を持つ天草も、見習うべき点があると思いました。

● ユニバーサルデザイン

町では、ボタン式の信号が多くみられました。ボタンからは音声で、進んでいい残りの秒数が流れたり、信号の横に表示したりしていました。

また、公共施設などでは、入り口の前に車いすマークのボタンがあ

り、それを押すとドアが自動で開いたりなど、だれもが便利なユニバーサルデザインがたくさんありました。

- レストランでの様子

レストランでは、1 団体に 1～2 人の店員が担当し、接客をします。こまめに自分の担当のテーブルをおとすれ、「飲み物のおかわりはいかがですか？」や、「デザートはいかがですか？」などと、丁寧な接客をしていました。チップ制度があるからだとは思いますが、それだけだとは思えないほどの丁寧な接客は、日本でも取り入れるべきだと感じました。

このように日本とアメリカの文化の違いはとても多くありました。アメリカの文化を知ることによって、日本が見習うべき点があり、逆に日本の良さを発見することもありました。

英語での会話は簡単ではなかったけど、自分が伝えようとする意思や工夫次第で伝わるのだということを学びました。この経験は自分自身にとっても大きな自信を与えました。自分にだって広い世界の中でも通用するのだと思えるようになりました。

こんなにも貴重な体験を中学生の時期にできたのは、家族やこの事業に関わってくださった方々のおかげだということを忘れず、これからこの経験を糧に必ずまたエンシニタスに戻って、ホストファミリーやお世話になった現地の方々に恩返しをします。そのために、これから精一杯努力していきたいです。



▲ホストファミリーとの出会い



▲Corvette でストローヘアに挑戦




▲お別れの朝...



▲初めての乗馬体験



▲カフェで女子会 



▲みんなで砂あそび



▲ダブルピークパークの頂上！



『最高だったエンシニタス』

本渡中学校2年 なかがわ 中川 けいいち 慶一

今回の天草市姉妹都市交流事業に参加したことで、多くの貴重な体験をすることができました。また、そのような体験をしていく中で、たくさんのかげがえのない出会いがあったし、自分の世界観を大きく変えることにもつながったと思います。

【8月3日(1日目)】

午前7時30分。ぼくたちはアメリカに向けて出発しました。天草から福岡に向かっている間、車の中ではみんなと楽しく会話をするなどして、アメリカへの期待を膨らませていました。福岡空港から関西空港まで行き、いよいよ人生初の国際線に乗り込みました。飛行機の中では、機内食など、初めて体験することも多く、「アメリカに向かってるなー！」という実感がわいてきました。

ロサンゼルス空港に到着。しかし、飛行機から出てみたものの、日本の空港でも見られるような光景ばかりで、「ここは本当にアメリカなのか？」と思ったほどです。でも、入国審査をするところまで行くと、だんだん「アメリカに来たー！」という実感がわいてきました。なぜなら、どこを見ても外国の方ばかりで、聞こえてくる言葉も英語などの外国語だったからです。

心配していた入国審査を終え、空港の外に出てみると、そこにはぼくの知らない世界が広がっていました。車は右側を走っていたし、信号機の形も日本とは違っていました。その他にも、とにかく新発見の連続で、とてもおもしろかったです。

車で約二時間移動して、やっとエンシニタスの市役所に到着。市役所の前には、ホストファミリーの方々が、ぼくたちの名前が書かれているプラカードを持って待っていてくれました。車を降りると、ぼくのホストファミリーのルークが笑顔で挨拶をして、温かく迎えてくれたので、とてもうれしかったです。その後、歓迎レセプションがあり、たくさんの方がぼくたちのことを歓迎してくれました。

その後、ルークと大佑さんとネイト(大佑さんのホストファミリー)といっしょに、夕食を食べに行きました。この日は、パスタを食べたのですが、日本よりもボリュームがあり、「さすがアメリカだな」と思いました。でも、とてもおいしかったので、すぐに完食することができました。

夕食を食べ終わった後は、ルークとぼくだけになったけれど、しっかりとコミュニ

ケーションをとることができたので良かったです。

そこからは、ホストファザーのフランクさんとホストマザーのアガタさんと会ったり、ルークの友達を紹介されてみんなで遊んだりしました。あまり言葉が通じなくても、みんなやさしく接してくれて、とてもうれしかったです

ぼくは1日目から積極的にコミュニケーションをとり、ホストファミリーなどと親しくなることができたので、2日目からも自分から積極的に行動していくことを心がけようと思いました。

[8月4日(2日目)]

この日は朝から、2匹の犬をつれて、ルークと散歩に行きました。2匹とも元気いっぱい、たくさん歩きました。また、散歩をしながら、ルークがエンシニタスのことについて教えてくれたので、とてもおもしろかったです。

昼食を家ですませた後に、市役所に集合し、その中をニックが案内してくれました。会議室や消防士ルームなども見ることができ、実際に働いているところを見学させてもらったので、とても貴重な体験になりました。

その後は、エンシニタスの街をみんなで歩いて見学をしました。とくに、「ムーンライトビーチ」は、とてもきれいだったし、たくさんの方がいたので、とてもにぎわっていました。また、「ハンセン・サーフ・ショップ」という店には、サーフボードや水着が売ってあり、そこでぼくは、ビーチサンダルを買いました。初めてのアメリカでの買い物だったけど、店の人がとても優しく、おもしろい人だったので、楽しくショッピングをすることができました。

その後、大佑くんたちといっしょに、4人でメキシコ料理を食べに行きました。初めてのメキシコ料理だったけど、タコスがとてもおいしかったです。

夕食の後は、DVDをレンタルしてきて、4人で映画を見ました。すべて英語だったから内容がよくわからなかったけど、4人で楽しくすごすことができたので良かったです。

[8月5日(3日目)]

早朝から市役所に集合し、みんなで電車に乗り、サンディエゴへ行きました。電車は2階建てになっていたもので、2階に乗りました。電車の中では、きれいな景色を一望することができました。また、切符を確認しに来た乗務員が気さくでおもしろい人だったので楽しかったです。

やっとサンディエゴに到着。サンディエゴはエンシニタスとは違い、高いビルが立ち並んでいて、とてもにぎやかな街でした。また、特に印象的だったのは、とても大きな空母を間近で見ることができたことです。空母の他にも、港町であるサンディエゴでは、さまざまな船を見ることができました。

サンディエゴ市内の散策が終わると、ぼくたちは、「シールツアー」に参加しました。

このツアーでは、水陸両用車に乗って、サンディエゴのさまざまな場所を見ることができました。また、海の上では、野生のアザラシやアメリカ海軍が飼育しているイルカなども見ることができ、とても貴重な経験になりました。

シールツアー後は、オールドタウンに行き、メキシコ料理を食べたり、オールドタウン内を散策したりしました。メキシコ料理の店には、とてもおもしろい店員がいて、とても楽しかったです。

この日の夜には、大佑くんのホストファミリーの家に行き、夜中まで「Risk」というボードゲームをして遊びました。アメリカのゲームもとてもおもしろかったです。でも、夜中までのゲームは、さすがに疲れました。

【8月6日（4日目）】

この日は朝から乗馬体験をしました。そこでは、馬に乗る前に、ブラッシングなども体験することができて、とても楽しかったし、馬のことがさらに好きになりました。

乗馬の後はランチタイム。この日のランチは、本場アメリカのハンバーガーでした。とてもおいしいハンバーガーでしたが、ポテトの量が日本よりも多く、完食はしたものの、少しきつかったです。

そして、楽しみの1つでもあった「サーフィン」をしました。レクチャーを受けた後に実際にやってみたものの、思っていたよりも難しく、最初はうまく波に乗ることができませんでした。でも、インストラクターに手伝ってもらいながら練習をしていくと、だんだんコツをつかめるようになり、1人で波に乗って、サーフボードに立てるようになりました。そこからは、休憩するのも忘れて、時間いっぱいサーフィンを楽しみました。

サーフィン後は、ティータイムを過ごし、ホストマザーといっしょにルークのアメフトの練習を見に行きました。また、家に帰っている途中、馬で登下校をしている人を見て驚きました。ホストマザーによると、一部の学生は馬で登下校をしていて、不思議なことではないのだそうです。日本にはないアメリカならではの発見をすることができてよかったです。

【8月7日（5日目）】

午前中は、ムーンライトビーチでビーチバレーの講習会がありました。少し体を動かした後、2チームに分かれて試合をしました。ビーチバレーをしたことはなかったけれど、慣れていくにつれて、少しずつ得点を入れられるようになり、とても楽しかったです。また、後半は小学生から高校生くらいまでのアメリカ人たちとも試合をしました。みんなで協力してがんばった結果、ほくたち日本人チームが勝つことができて、とてもうれしかったです。

ビーチバレーの後の昼食では、ピザを食べました。日本のピザの2倍くらいもあるピザが3つも出てきて、みんなで食べても全部は食べきれませんでした。でも、味は

とてもおいしかったです。

昼食後はハイキングをしました。ハイキングとはいったものの、ほとんど歩きませんでした。山の頂上から見る景色は最高でした。また、その景色をバックに記念撮影をしました。

この日の夜も夕食を食べた後は、ネイトの家で「Risk」をしました。このゲームをするのも2回目だったのでルールも理解できるようになり、とても楽しかったです。

【8月8日（6日目）】

この日は朝から、ルークが買い物につれて行ってくれました。そこでは、キーホルダーやマグカップなどのお土産を買うことができました。

午後からは、エンシニタスの図書館で開かれたジャパニーズフェスティバルに行きました。会場となる図書館の中に入ると、日本人はもちろん、多くの外国人の方がいたので、驚いたし、たくさんの外国人が日本のことに興味をもってくれていたのうれしかったです。また、このフェスティバルでは、着物のファッションショーや茶道の紹介などのイベントも開催されていたので、久しぶりに日本の文化に触れることができ、とても楽しかったです。

夕方には、お別れ夕食会がありました。ぼくたちは、夕食も食べないで、サッカーなどをして遊んでばかりいました。そして、夕食を食べ、少し休憩した後は「アメリカ人チーム」と「日本人チーム」に分かれて、みんなでサッカーをしました。みんなとやったサッカーはとてもおもしろく、「こんな時間がずっと続いてほしいな。」と思ったほどでした。ホームステイ最後の夜にして、最高の思い出ができてよかったです。

この夕食会が終わった後も、ぼくとルークと大佑くんとネイトは、夜中まで「Risk」をして遊びました。この4人でゲームをして遊ぶのもこれが最後だったので、おもいきり楽しむことができよかったです。

【8月9日（最終日）】

いよいよホストファミリーと別れる時がきてしまいました。アメリカでの思い出がよみがえってきて、別れるのがとてもつらかったです。でも、最後までなんとか笑っていることができました。そして、ルークに感謝の気持ちを伝え、お互いに「ハグ」をして、ぼくは車に乗りました。

その後は、ユニバーサルスタジオハリウッドなどで遊び、ロサンゼルスのホテルで一泊した後、日本に帰国しました。こうしてぼくにとって人生初のホームステイは終わりました。

今回の交流事業を通し、一番感じたのは、コミュニケーションの大切さです。ぼくが今回の交流事業で大切にしていたことは、コミュニケーションをしっかりとることでした。そのため、初日から積極的にホストファミリーなどに話しかけていました。

すると、どんなに英語が分からなくても、ジェスチャーなどを使って、なんとか会話をしようとすることで、相手は真剣に聞いてくれたし、ぼくにも分かるような簡単な英語で話してくれました。このようなコミュニケーションをとろうとする積極的な姿勢と、それを真剣に聞いてくれる相手の優しさがあって今回の交流事業が成功したのだと思います。

この他にも、今回の交流事業を通して得たものはたくさんあります。今回得たものは、今後の自分の生活に活かすだけでなく、自分の周りの人たちにも情報として伝えていこうと思います。そして、今まで以上に海外のことに関心を持ち、人の役に立てるような人になりたいです。そうすることで、今回の交流事業に関わった多くの人への恩返しになるのではないかと思います。本当にありがとうございました。

T h a n k y o u E n c i n i t a s ! !



▲ホストファミリーと初対面！！



▲みんなで記念撮影 😊



▲サンディエゴ 最高——！！



▲別れたくないーい



▲エンシニタスの海 きれい！！



▲乗馬スタート！！



▲ピザおいしかったー！！



『 エンシニタスで私が得たこと 』

きたむら そら
牛深中学校2年 北村 空

私は今回の交流事業を通して、かけがえのない貴重な経験をする事ができました。この経験は、私がこれから大人になっていく上で、大きな意味をもたらしてくれると思います。

飛行機から見えた、初めて見るアメリカの景色は今でも忘れられません。緑に覆われた山ではなく、茶色い山を見たとき、アメリカに来たんだなと実感しました。エンシニタス市は、天草市と似ていると聞いていたけど、天草市よりもはるかに都会でした。さらに、空気がとても乾燥していました。市役所へ行くと職員の方々とホストファミリーの方々が待っていてくださいました。それぞれ、私たちの名前が書いてあるカードを持っていました。私のホストファミリーは少し遅れて来るそうで、待っていると、私の名前が書いてあるカードを持ったホストファザーが笑顔で迎えに来てくださいました。その数分後、ホストマザーも来てくださいました。そして3人で家へ向かいました。私がお世話になる家は、とてもかわいい家でした。家には”Welcome, Sora.”と書いてあるボードがありました。私はとてもうれしかったです。

荷物を整理した後、ビーチに連れて行ってもらいました。夕方なのにたくさんの方がいて、私の住む牛深のビーチとは全然違いました。ホストファザーは、「このビーチはとても小さいよ。」と言っていましたが、私からすればとても大きかったです。どこまでも海が広がり、島一つ見えず、一直線にのびるきれいな砂浜はどこまでも続いていました。また、ごみ一つなくとてもきれいでした。

散歩を終えて家へ帰ると、晩御飯の準備が始まりました。庭へ出るとバーベキュー用の大きなグリルがありました。日本ではなかなか見かけないような形のものでした。まさに「アメリカ」というような感じがしました。そのグリルでお肉とバンズとたまねぎなどを焼いて、ハンバーガーにして食べました。大きくて、食べづらかったけど、とても美味しかったです。私はあまりハンバーガーが好きではなかったけれど、本場のハンバーガーは日本で食べるものとは違って、とても美味しかったです。

二日目、私たちはオールドスクールへ行きました。オールドスクールはエンシニタスで最初にできた学校だそうです。机などの道具が、とても変わった形をし

ていました。

他にも様々な場所へ行きました。セルフ・リアリゼーション・ガーデンズにはたくさんのきれいな草花があり、そこから見たエンシニタスの海は、ビーチとは違った美しさがありました。それから、アイスをみんなで食べた後、市役所で解散しました。その日私は、先輩のホストファミリーと一緒に夕食を食べることになっていました。夕食まで、プールで一通り遊んだ後、ラザニアを食べました。初めて食べたのですがとても美味しかったです。食事の後しばらく遊んでいると、私のホストシスターのギャビーが来ました。私は早く彼女に会いたかったので、とてもうれしかったです。

帰宅後、寝るときに一つ疑問がありました。夜寝ているときに外から「カンカンカン」という大きな音が聞こえてくるのです。私は尋ねることができずにいましたが、とても不思議に思っていました。

三日目、私たちは電車でサンディエゴへ向かいました。その電車を待っているとき、私の昨日の疑問がとけました。あの「カンカンカン」という音は電車が走るときに出す音だったのです。私たちが乗る電車は三階建てでした。サンディエゴへ着くとエンシニタスとはまた違った風景がありました。水陸両用ボートでは、サンディエゴの街中を回った後、海へ入り、アザラシや鳥を見ました。その中には海軍に保護されたアザラシもいたそうです。海の上に木の板を浮かべており、その上にたくさんのアザラシが寝ていました。とてもかわいかったです。その後、トローリーでオールドタウンへ行きました。

私はその日、時差ぼけで少し体調が悪かった上にボートやトローリーで乗り物酔いをしたため、昼食のメキシコ料理をあまり食べることはできませんでした。また、オールドタウンを散策する時間も少しだけ見て回った後、芝生の上で寝てしまいました。目が覚めるとみんながいたのでとても驚きました。夕方には体調も戻り、私はホストファザーとギャビーと一緒にビーチでブギーボードを使って遊びました。エンシニタスの海は水温が低く、波がとても高かったです。天草の海とは全く違い、新鮮で楽しかったです。

帰宅後にトマトソースを作りました。それをラビオリにかけて食べました。私が、”It’s very good!!” というと、ホストマザーはにっこりと笑って親指を立てて、”Good!” と言ってくれました。夕食後、私とギャビーは再び水着に着替えて、クーズィーという、日本のジャグジーのようなものに入りました。最初はなかなかギャビーと話ができませんでした。が、どんな話でもとにかく話しかけました。すると、ギャビーは笑顔で答えてくれ、会話をすることができました。さらに仲良くなれたのでとても嬉しかったです。

四日目、その日は乗馬から始まりました。まず私たちは馬の手入れをしました。シャンプーで体を洗い、最後は馬の毛をかわいくアレンジしました。その後、順

番に馬に乗り、近くの道をゆったりと回りました。乗ると視線がぐんと上がって、違った風景が見えました。午後はサーフィンをしました。始めはまったく乗れなくて流されてばかりだったけれど、だんだんと乗れるようになりました。

その後、先輩のホストシスターのレナとサンドクラブという砂の中にある小さなカニを探しました。波が打ち寄せてきた直後に砂をほって探しました。それからみんなでカフェへ行きました。私はアイスカフェラテと大きなチョコレートケーキをたのみました。私は甘いものが大好きなので食べる気満々でしたが、アメリカの「甘い」は日本の「甘い」とは格が違って、すぐに満腹になりました。

夕方、私はホストファミリーとサンディエゴ動物園へ行きました。着いた頃はもうすでに夕方の6時でしたが、たくさんの方がいました。パンダやカバなど、多くの動物を見ることができました。そして、私たちはロープウェイのような乗り物に乗って、サンディエゴの夜景を見ました。大都会の夜景は天草の夜景をびっくり返したようで、とてもきれいでした。

五日目、その日はビーチバレーを行いました。一通り練習した後、私たちと同じくらいか、少し年下くらいの子どもたちと対決しました。結果は、私たちが勝ちました。昼食はピザを食べました。その中の一つにパインが載っているピザがあり、初めて食べる味で美味しかったです。

その後、ダブルピークパークへ車で向かいました。茶色い山に葉がついていないトゲトゲした木、ごつごつした大きな岩、まるで映画の世界のようでした。解散した後、私はギャビーと買い物に行きました。そこで私はワンピースを2着と小物を買いました。その後、メキシコ料理を食べに行きました。料理はとても美味しかったです。

食事が終わり、帰ろうとしたとき、楽器を演奏していた人たちが急に私たちのテーブルを囲んで誕生日を祝う歌を歌い始めました。私がとても喜んでいると、今度はデコレーションされたプリンが運ばれてきて、私の前に置かれました。なんとホストファミリーが、私の誕生日を祝ってくれたのです。とてもうれしくて、言葉が出ませんでした。会って数日しか経っていない私のためにここまでしてくれるホストファミリーの優しさに、とても心が温かくなりました。

六日目、朝食からホストファミリーと外食しました。その後、町をまわっておみやげなどを買いました。そして、ドライブをした後浴衣に着替えてジャパニーズフェスティバルへ行きました。ホストファミリーが浴衣を見て、”It’s very good!”とほめてくれました。ギャビーは、”I like your hairstyle! Good!”とほめてくれました。会場へ行くとたくさんの方がいて、日本の着物の紹介などをしていました。ライブビデオ中継は思っていたものと違ってびっくりしましたが、久しぶりに家族と話せてよかったです。

夕方、公園まで行くと、みんなそれぞれホストファミリーと来て集まっていま

した。子どもたちみんなでサッカーをしたり、「だるまさんが転んだ」をしたりしました。本当にとっても楽しくて、忘れられません。そこには私たちのお世話を下さった市役所のニックさんの小さい子どもたちも来ていて、一緒に遊んだらとても喜んでくれて、とてもかわいかったです。

七日目、とうとうエンシニタスを離れるときが来ました。女子の先輩方は分かる悲しさで涙を流していましたが、私は”I don't cry.” といって、笑顔でエンシニタスを離れました。最後にみんなで撮った集合写真は私の宝物です。

私の今回の交流事業での目標は、視野を広げ、分け隔てなく人と接することができる、心が広い人になることでした。これから、国際化が進んでいく社会でどんな人にも差別、偏見を持たず、平等に接することが大切になってくると思うからです。

今回の事業で私が一番自分イ取り入れたいと思ったことは、エンシニタスの方々の広く温かい心です。初対面の私たちに優しく、家族のように接してくれたことは私の中でとても強く印象に残っています。いつでも受け入れてくれる、広く深い心に私は感動を覚えました。どんな時でも、誰にでも優しく接することのできる心、これは私が目標としていたもの、そのものです。

だから、今回の経験を通し、私がしてもらいうれしかったこと、感動したこと一つ一つを私の生活へ取り入れていき、目標へ少しずつ確実に近づいていきたいです。そして、心が広い人に私はなろうと思います。

私はこの事業へ参加できたことを本当にうれしく思っています。この事業は私の理想へと近づく、大きな大きな一歩となりました。きっと、もう二度と経験することのできない貴重な経験をすることができました。本当に楽しくて、実りのある研修でした。



▲市議会の議長席に座りました！



▲MIDWAY 前にて。お父さんに自慢しました。



▲机と椅子がつながっていました！



▲馬も大変だろうなあ・・・。



▲翌日はこの像にぬいぐるみが沢山ついていました。



▲バンの中で色々な会話で盛り上がりました！



▲最終日の朝。最後のお別れはさびしかったけれど笑顔で別れました。



『 姉妹都市交流 in Encinitas 』

牛深東中学校3年 やまぐち 山口 なつこ 夏子

8月3日、沢山の方に見送ってもらい、天草を出発しました。福岡空港から関西空港、そしてロサンゼルス空港へ向かいました。

11時間という国際線の長いフライトを終え、ロサンゼルスの地に降りると、天草とは全く違い、空港には茶色い地面が広がり、街中はクラクションが鳴り響いて、高い建物がいくつも建っていました。ジミーさんという方が運転してくださるバンに乗り、エンシニタスへ向かいました。車窓から見える景色が看板や標識が英語だったり、道路は片側4車線程あったりと新鮮でした。

エンシニタス市役所に着くと、沢山のファミリーが私たちの名前のプレートを持って待っていてくれました。私の名前が書かれたプレートを持っていたのは、アレックスという16歳の女の子でした。横にはケンというホストファザーがいました。私は、ホストファザーとマザーがされている仕事にとっても興味がありました。ホストファミリーのインフォメーションシートを初め見た時にお仕事の欄に、Physical Therapistと書いてありました。日本語訳すると、理学療法士です。私は、将来理学療法士になりたいと思っていたので、これについて会話がしたいと、ずっと思っていました。挨拶をした後、ケンにそのことについて話すと、とても喜んでくれました。

市役所で歓迎レセプションを開いてもらい、リュックと水筒をいただきました。そのあと、ホストマザーを職場へ迎えに行くという事になり、実際にお仕事をされている老人ホームへ行きました。ホストマザーは、イーザスという方で、私が将来理学療法士になりたいと思っているという事を話すと、職場にあるリハビリの器具を実際に使わせてくれました。

イーザスを迎えに行ったあと、タコス屋さんに行き、ブリトーとタコスを食べました。日本にはない味付けと、食べ物の量に少し驚きましたが、とてもおいしかったです。

家に着くと、いろいろな部屋を紹介してくれました。庭は広く、バレーコートが1面取られていて、プールもありました。シャンディというペットの犬も走り回っていました。私の部屋には、沢山のファミリーの写真が飾ってありました。とても過ごしやすく、夜はクーラーいらずで、日本の熱帯夜とは全く違うものでした。

二日目、朝起きると、イーザスが、私がインフォメーションシートに食べてみたいと書いていた、エッグベネディクトを作ってくれました。イーザスは料理が苦手だと言っていたのですが、とてもおいしかったです。朝食を食べた後、アレックスが部活をしている、学校の体育館へ行きました。アレックスはバレー部に所属しています。

練習が終わると、ヌードル&カンパニーというお店に連れて行ってくれました。ヌードルは、日本で言う麺ではなく、マカロニで、少し驚きました。

午後からは、ガスパー市長と面談をしました。市長面談のあと、ニックという市役所の方の案内でエンシニタス市内を歩きました。歩いてみて気付いたことは、日本の夏のような蒸し暑さではなく、乾いたような暑さで、吹く風は涼しかったという事です。更に歩道には、ゴミ箱が一定の間隔で置いてあり、歩道と車道の間には、LANE BIKE と書かれた自転車専用道路もありました。これらは、そこに住んでいる方が気持ちよく、過ごしやすく生活できる工夫がされているのだと思いました。

街中のお店に何軒か立ち寄って、アイスを食べたり、マンガを描いたりしている事務所に特別に入れてもらえたり、サングラスのブランド店に寄ったりしました。

その日の帰り、私は北村さんと、私のホストファミリー宅へ帰りました。家に帰ると、閉まっていたプールの蓋が開いていて、アレックスからプールに誘われ、3人でプールに入りました。アメリカの家庭には、プールがあるのは普通のことだと聞き、とても驚きました。プールの後、夕飯を食べ、途中から北村さんのホストシスターのギャビーも来て、一緒に Wii をしました。

三日目は列車でサンディエゴへ行きました。列車は二階建てで、日本の電車と新幹線の間くらいの速さでした。サンディエゴに着き、少し歩いた後、シールツアーという水陸両用ボートツアーを体験しました。間近でアザラシや、海軍の大きな船が見られたりしました。

シールツアー後、トロリーという路面電車に乗り、オールドタウンへ移動しました。昼食にメキシカンフードを食べた後、木下さん、坂本さんと一緒に散策しました。街並みは、中世のヨーロッパの様で、建っている建物の中に、その時代の格好をした人たちが、籠を編んでいたりと、トランプゲームをしたりしていました。その日は、家に帰らず、アレックスとイーザスと一緒にご飯を食べに行きました。食べたのは、クラムチャウダーインブレッドボウルです。中学校の英語の教科書に載っていて、実際に食べてみたいと思っていたので、食べることができ、嬉しかったです。

夕飯後は洋服を買いに行き、そこでは、アレックスが、私に服を選んでくれました。最後に、フローズンヨーグルトの店に行きました。フローズンヨーグルトとは、見た目はソフトクリームの様で、自分の好きなフレーバーのアイスやトッピングを選んで入れることができるというもので、とてもおいしかったです。

四日目、午前中は乗馬をしました。乗馬の前に馬を洗ったり、ブラッシングしたりしました。木下さんのホストファミリーの家の馬で、木下さんのホストシスターのレナは、とても馬になれていました。実際に馬に乗ってみると、思っていたより揺れず、乗りやすかったです。

乗馬後は、イン&アウトバーガーで、ハンバーガーを食べました。ボリュームがあり、アメリカのファストフードのイメージそのままでした。

午後からは、サーフィンをしました。最初は、全くボードの上に立つことが出来ず、落ちてばかりでしたが、インストラクターの方に助けてもらい、小さい波から、少しずつ大きな波に挑戦する事が出来ました。

サーフィンが終わって、パンニキンカフェへ行き、チャイラテとココナッツパイを食べました。

パンニキンカフェにイーザスが迎えに来てくれ、家に帰ると、ケンがバーベキューコンロで、バーベキューをしていました。先にシャワーを浴びた後、ご飯を食べました。その日はとても動いて疲れたので、すぐ寝てしまいました。

五日目は、ムーンライトビーチで、ビーチバレーをしました。私は、バレーをしていましたが、地面が砂だと、足を取られ、体育館のようにうまく動くことが出来ませんでした。少し練習をした後、ビーチにいたチームと試合をし、勝つことができました。昼に、ピザを食べた後、ダブルピークパークへハイキングに行きました。山の頂上からはサンディエゴを一望出来る景色が広がっていて、とてもきれいでした。

その日、家に帰り夕飯を食べた後、イーザスとケンが、キャンプに行っていたアレックスの弟のイアンを学校へ迎えにいくと言ったので、一緒に迎えに行きました。イアンは、私の1つ下で、アメリカの学年の構成で、夏休みが終わると、高校生になると言っていました。アメリカの高校進学は、基本受験をせず、地元の高校へ行くことがほとんどだと聞き、夏休みの宿題もなく、受験もないという事に、羨ましいなあ、という気持ちを少し抱きました。

家に着いて、しばらくすると、みんなでジェスチャーゲームをしました。ジェスチャーは言語のような違いがなく、国籍が違ってても理解できるので、とても楽しかったです。

六日目、午前中は、家族と自由に過ごせる時間でした。朝から、アサイーボウルを食べ、お土産を買いに行った後、ロングビーチという所へサーフィンをしに行きました。アレックスや、イアンはとてもサーフィンが上手く、高い波も簡単に乗りこなしていました。私はイーザスとケンにサポートされながら、やっと自分でパドルして、波に乗れるようになりました。

シャワーを浴び、家でサンドイッチを食べた後、持ってきた甚平に着替え、ジャパニーズフェスティバルへ向かいました。会場には、沢山の日本人の方が居られ、着物のフ

アクションショーや、歌などを披露していました。改めて、日本文化は美しく、素敵だと思いました。ライブビデオ中継では、私の家族と話す為に、ホストファミリーが日本語を勉強してくれ、うれしかったです。

フェスティバル後、公園でお別れ夕食会を開いてくださいました。ニックや、他の派遣団のホストファミリーも、私たちの為に料理を持ち寄ってきてくれました。中川君のホストシスターのルーク、野嶋君のホストシスターのネイト、ギャビー、アレックス、イアン、レナと、派遣団の6人でサッカーをしました。

家に帰り、その日は二軒先のアレックスの友達のケイトの家に泊まりました。旅行中で、ケイトも家族もいませんでした。そこでは何本か映画を観ました。アレックスと笑いながら楽しく観ていて、どれも印象に残っています。

七日目、ホストファミリーとのお別れの日がついに来ました。悲しくて泣いてしまいましたが、私は、またエンシニタスへ必ず来ようと思いました。

ジミーさんの運転するバンに乗り、ロサンゼルスへ向かいました。ハリウッドに着くと、雰囲気が一気になりました。大きな電光掲示板や、高い建物、沢山の人が通りを埋め尽くしていました。その通りには、俳優、歌手、映画監督などから、ミッキーマウスまで、様々な有名な人物やキャラクターの手型や足型がありました。更に通りから見えたのは、山の斜面の「HOLLYWOOD」の文字です。

通りを歩いた後は、ユニバーサル・スタジオ・ハリウッドでの8時間の自由時間がありました。最初に、みんなでスタジオ内のアトラクションをトロッコに乗ってまわるアトラクションに乗りました。キングコングやジョーンズなど4つのアトラクションや、映画の撮影で使われた場面を再現するというものもありました。次に乗ったのは、ジュラシックパークでした。100分程待って、やっと乗ることが出来ました。落ちてくる水の量がとても多く、体中びしょ濡れでしたが、とても楽しかったです。その後乗ったのが、マミーというアトラクションでした。真っ暗な中を、高速で前後に動くというアトラクションでした。

遊んだ後、ホテルへ移動して、体を休めました。

次の日の朝、チェックアウトを終え、ロサンゼルス空港へ向かいました。出国審査をした後、飛行機へ乗り込み、日本へ帰りました。

姉妹都市交流を通して、気付いた点があります。

まず、エンシニタスには、ビーチにも、道路にもゴミ1つ落ちていないという事です。天草も汚くはないと思いますが、現状に満足せず、更に街をきれいにしていこうと努力することが大切だと思いました。

2つ目に、エンシニタスでも、天草でも互いが姉妹都市を締結しているという事が市民の皆さんに浸透していないという事です。天草で、この企画と私たちが伝える他に、

エンシニタスをアピール出来ることはないかと考えました。

例えば、市報の少しのスペースでも、エンシニタスについてのニュースを載せたり、互いのトライアスロンの時期には、エンシニタスから、選手を招待したり、逆に天草から選手を派遣したりなど、方法は沢山あると思います。

私は、海外は治安が悪い、ゴミが落ちていて、汚そうというイメージを持っていましたが、実際にエンシニタスへ行って、この先入観は取り払われました。

今回、このような貴重を体験させてくださった、私の家族、友達、学校の先生、市役所の方々などの天草に住む皆さん、本当にありがとうございました。

そして、ニックやガスパー市長、ホストファミリー他、エンシニタスの快く私たちを迎えてくださった皆さん、夢のような楽しい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

この経験はこれからの進路や、将来の職業などにもつなげていきたいと思います。



▲エンシニタス市役所にて



▲ホストシスターとホストファザー



▲ホストファミリー宅のプールにて



▲初の乗馬体験！



▲My 2nd family



▲ホストブラザーと



▲初！憧れのハンモック！



『 姉妹都市交流事業を終えて 』

のじま だいすけ
五和中学校3年 野嶋 大佑

僕は、この1年間「何事にもチャレンジする」という目標を立てました。

そんな時、この交流事業のことを聞き、参加しました。僕は将来の夢がありません。自分の将来を考えるために何頃にもチャレンジすることが大切だと思いました。

今回のホームステイでは、チャレンジすることの大切さと、難しさを教えてもらえたと思います。ホストファミリーのネイトなどたくさんの人たちのおかげで、自分の将来について少し何かが見えた気がしています。

8月3日午前7時、出発式がありました。このときはまだアメリカに行くという感覚がありませんでした。まだ、6人全員と仲良くなっていなかったのが不安もありましたが、車に乗って出発するとみんな楽しい人たちで、すぐに車内は騒がしくなりました。自分たちのサングラスを見せ合って遊んだり、トランプをしたり、不安はすぐなくなりました。

関西空港に着き、外国の人が増えやっとアメリカに行く感覚が出てきました。10時間ほどのフライトでした。映画やマンガを見ることができて驚きました。

夕方頃にロサンゼルス空港に着きました。飛行機から見下ろした景色は、日本と全然違いました。入国審査も緊張しましたが無事にアメリカに着くことができました。空港を出てからは、緊張なのか景色に見入っていたのかはわかりませんが、誰もが無言でした。エンシニタス市までは、みんな疲れて眠っていました。日付変更線で一日戻ったため、まだアメリカの8月3日が終わっていなかったからです。

ついに念願のエンシニタス市。

たくさんの皆さんが僕たちを迎えに来て下さいました。ホストファミリーの家に着くとあいさつをして日本から持ってきたラーメンをプレゼントしました。とても喜んでくれました。

僕のホストファミリーは家に噴水があったり、大きな暖炉があるととても大きな家に住んでいました。ホストマザー、息子のネイトもとても親切で、アメリカ滞在中僕のことをよく考えて下さいました。ホストマザーは活動から帰ってくると笑顔で話しかけてくれました。「何が楽しかった?」「何をしたの?」などたくさん話をしました。また、朝起きてくると「How are you?」と毎日聞いてくれ、「疲れていませんか?」などと

体のことも気にかけてくれました。

ネイトはいつも僕といてくれました。ネイトはとても日本が好きで、日本のおもちゃをたくさん持っていました。日本のマンガもたくさん知っていてビックリしました。僕が行きたいところにもたくさん連れて行ってくれました。ホストファミリーはみんな優しく、楽しい人達でした。本当に感謝しています。

アメリカ生活2日目。その日は少し時間があったので、行きたいと思っていたアメリカの釣具屋に連れて行ってもらいました。とてもうれしかったです。

また、市役所に行ったあとみんなと合流したらエンシニタス市を散歩しました。近くのサーフィンショップで買い物をしたのですが、買いたいものを探すときに困ったのがサイズ探しです。Sサイズと書いてあるのに日本のMサイズかLサイズくらいあり、小さいサイズのものを探すのは大変でした。

お金も日本と違ってドルなので、先生に手伝ってもらいながら払いました。店員の人のいろいろなやりとりにも挑戦しましたが、とても難しかったです。

アイスクリームも食べました。バニラを食べたのですが、キャラメルを食べている感じがしました。アイスなのに溶けずに口の中に残っている感じがありました。でも味はとても美味しかったです。

3日目は、隣町のサンディエゴに行きました。水陸両用の乗り物に乗って町の観光をして海に入りました。海ではイルカやアシカを見ることができました。返っているときに大きなアメリカの軍艦に会いました。サンディエゴの海はサメが入ってこないように、海に特別な装備があることも聞き驚きました。

昼食はメキシコ料理を食べました。タコス初めて食べました。たくさんの具が運ばれてきました。カレーやサラダなどを皮に巻いて食べました。美味しかったです。

4日目は、乗馬体験をしました。まず、馬を洗いました。手にはめて使うブラシのようなもので洗いました。馬は退屈だったらしくて地面をツメでこすっていました。洗ったあとはブラッシングをしました。馬に乗るのは2回目だったので怖くはありませんでした。とても上手と言われてうれしかったです。

乗馬のあとにハンバーガーショップにも行きました。チーズバーガーとポテトのSを頼みました。日本より大きくとても美味しかったです。

その後は僕が楽しみにしていたサーフィンでした。海はゴミがなくきれいでした。インストラクターの方にあいさつをして砂浜で練習をしました。練習が終わり自分たちでサーフィンをしました。深くなっていくにつれ、波も高くなっていきました。いきなり驚くほどの大きな波が来て、息をしてしまい目と鼻に大量の海水が入ってきました。しかし、何回も練習したので慣れてきてサーフィンに集中できるようになりました。波が来るのを待ち、波が来たら立つだけですが、なかなか立つことができませんでした。

インストラクターに手伝ってもらいながら練習していると、一人で立てるようになりました。途中でアメリカの子どもたちとサーフィンについて英語で話すことができました。会話ができたのでとてもうれしかったです。

サーフィンが終わってコーヒーショップに行きました。僕はアイスココアを飲みました。美味しかったです。ケーキも食べました。美味しかったです。日本では食べたことのない独特な味がしました。

帰る前にナイトとゴルフをしました。ゴルフと言ってもたくさんの障害物があるコースにある穴にボールを入れるゴルフです。1点差で負けましたがとても楽しいものでした。

100円ショップにも行きました。店も大きく品数も多くとても驚きました。何と言っても100円ショップがアメリカにあることに驚きました。たくさんのお土産も買うことができました。

5日目はビーチバレーをしました。ビーチに行く車の中で顔に色をつけるクリームで遊びました。派手につけたので注目されました。

ナッツのドーナツも食べました。日本では食べたことのない味でした。

最初にボールを使って足に挟んで走る競争などを行ったあと2チームに分かれて練習をしました。その後試合をして楽しみました。僕もサーブでたくさん得点できたのでうれしかったです。

バレーが終わったあと海に入りました。ビーチで有名なサンクラブというかきを探しました。小さくてかわいかったですが、砂の中にいるので探すのが大変でした。夕食には焼き肉を食べに行きました。ごはんがつぶされてスライスされたごはんがありました。それに肉を巻いて食べていたのでとても驚きました。肉は想像以上にたくさんありました。美味しいものが多く楽しい時間を過ごせました。

次の日はジャパニーズフェスティバルでした。

日本のものがたくさん置いてあり、振り袖のファッションショーもありました。最後にライブビデオ中継があり、久しぶりに僕の家族の顔を見ました。うれしかったけれど明日にはみんなとお別れしなければならないと思うと悲しくなりました。

お別れの日の朝になりました。ホストマザーにプレゼントをもらいました。僕も先日買ったコップをプレゼントしました。とても喜んでくれました。

市役所に行きみんな写真撮ってお別れしました。泣いている友達もいました。僕もとても悲しかったけど口では言えない何かとても大切なものをもらいました。

とうとうアメリカ出発の時です。びくびくしながら入国審査をしたのが昨日のこのように思えました。とても楽しい10日間でした。エンシニタス市には絶対また来たいと思います。

この10日間で将来につながるものを得ることができました。今回はたくさんの人達にお世話になりました。きっと来年はアメリカから派遣生がやってくるでしょう。僕は今回の経験から得たものをその時に生かしたいと思っています。

僕は、このホームステイで人の優しさを知りました。ホストファミリーは本当に優しく、僕のことを家族の一員として迎えてくれました。アメリカ滞在が充実したのはホストファミリーがいてくれたおかげだと思います。

2つ目に「知ること」の大切さを知りました。実際に行ってみて、文化の違いや生活の違い、食べ物の違いなど自分の想像していたこと以上に違うことがわかりとても良かったです。また、自分が日本のことをしっかり知ること大切だと思いました。僕は今回天草市の中学生の代表としてエンシニタス市に行くことができました。天草について、日本について、自分の家族についてもう少し英語で話せると良かったなと思う場面もたくさんありました。日本や天草の良さをもっともっと伝えることができるように頑張りたいと思いました。これからはもっと英語の勉強をして、多くの国に行って、またエンシニタスの方に会えたらいいなと思います。

今回僕に研修の機会を与えてくれた天草市、両親、先生方、楽しい10日間に協力してくれたホストファミリー、桑畑先生。たくさんの皆さんの協力があって僕は充実したアメリカ生活を送ることができました。これからも積極的に行動し、自分の夢を実現させていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



▲記念に1枚



▲初めてのアメリカの列車



▲乗馬体験



▲おいしかったピザ



▲ありがとうネイト！！



▲みんなと過ごす最後の日



▲悲しい別れ



『 姉妹都市交流事業を終えて 』

さかもと なこ
五和中学校 3年 坂本 菜子

わたしは、ホームステイに行くことがきまってからずっと、ワクワクしていました。きっと、あっという間の一週間になってしまうだろう…、だからこそ、一日一日を大切に過ごそうと思いました。

アメリカに着くと目の前の景色が一変し、“ザ・大陸”という感じで、アメリカに来たんだなあという実感がわきました。その後、エンシニタス市役所でホストファミリーとの顔合わせがありました。

初めて会ったわたしのホストファミリーは、とても優しくそうな老夫婦の方々に、とても安心しました。初めて一緒に過ごすホストファミリーとの夜。いろいろ考えて用意していた日本のおみやげをととても喜んでくださいました。ホストファミリーは、日本に大変興味を持たれているようで、わたしにたくさんの質問をされました。

たどたどしく説明しながらも自分の国のことに興味を持ってもらえていることがとてもうれしかったです。また、自己紹介の中で、わたしの祖母が卵屋さんをしていることを話すと、ホストファミリーは、「あなたの大好きな卵よ。」と言って、次の日の朝から毎朝、卵料理を出してくださいました。その気持ちがとてもうれしく、本当のお婆ちゃんみたいで、ホストファミリーがさらに身近な存在になりました。

2日目は、エンシニタス市役所訪問でした。

まず、市長さんに挨拶をした後、天草市からのおみやげの天草更紗のタペストリーを渡すと、「Oh! It's beautiful!」と言って、喜んでくださいました。

その後、エンシニタス市を散策しました。道路がとても広く、自動車のスピードが高速道路を思わせる速さでびっくりしました。

最初に食べたものは、アイスクリームでした。いちばん小さいサイズだったのに、アメリカンサイズは想像以上に大きかったです。それから、エンシニタス市でいちばん大きいというサーフショップに行きました。洋服を見ても自分に合うサイズを探すのが難しく、ドルに慣れていないこともあり、買い物だけでも一苦労でした。

夕方になりみんなと別れ、今度はホストファミリーとビーチへ行きました。

そこでは、ブギーボードというもので、波乗りに挑戦しました。これは簡単に波に乗れるボードらしく、初心者のわたしにも充分楽しめました。そこで一緒にホームステイ

に来ていた友だちと会い、二人で夢中になって遊びました。あっという間の2時間でした。時間を忘れるほどの楽しさでした。

夜は、そのホストファミリー2家族でショッピングに行ったり夕食を食べに行ったりして楽しく過ごしました。

3日目は、まず、電車でオールドタウンに行き、ミッドウェーの船を見たりお店に行ったりしました。そして、水陸両用車に乗って海に出て海軍の訓練の様子を見ました。間近で見るととても迫力があり、少し怖かったです。

昼食は、メキシコ料理屋さんでタコスデビューでした。ちょっと不思議な味でしたが、みんなはおいしそうに食べていました。そして、3年生女子3人で、メキシコ系の街を散策しました。3人でおそろいのもを買ったりして楽しかったです。

その夜も2家族で夕ご飯を食べに行きました。シーザーサラダを食べましたが、アメリカは基本的に素材の味を生かしてあるようで、塩をかけて食べる料理が多かったです。3日目にして日本食が少し恋しくなってきました。

4日目のメインは、乗馬体験とサーフィンでした。

おとなしい馬にはみんなでシャンプーをしたりブラッシングをしたりしました。慣れてくると、みんなでヘアアレンジをしたりして楽しみました。乗馬も何とかできましたが、馬の背中想像以上に高く、少し怖かったです。

その後は、念願のハンバーガーランチです。本場のハンバーガーということで、とても楽しみにしていました。ここでも大きいサイズを想像していましたが、思ったよりも普通サイズで逆に驚きました。でも、フライドポテトとドリンクはSサイズが日本のLサイズくらいありました。やはりアメリカンサイズは、大きかったです。

午後からはビーチに行き、待ちに待ったサーフィンでした。ムーンライトビーチの波はとても高く、波に向かっていくときはすこし怖かったです。また、サーフィンはバランスをとるのが難しく、何度も挑戦しましたが、ほとんど失敗に終わりました。そんな中、数回でしたが波に乗ることができたときは、本当に気持ちよかったです。

その夜は、また友だちとそのホストファミリーと一緒に街に出ました。エンシニタス市の夜は天草とは違い、とても賑やかで活気にあふれていました。そこで路上ライブをしているわたしのホームファザーに会いました。彼はミュージシャンで、バンドのキーボードをしていました。その姿はカッコよくて、もうすぐ70歳になる人とはとても思えませんでした。

5日目は、ビーチバレー講習会でした。ビーチに行く前に人気のドーナツ屋さんに行きました。1つ1ドルもしない安くておいしいドーナツでした。

その後、ビーチでビーチバレーをしました。チーム対抗の試合をしましたが、砂の上ではうまく動けず大変でした。そのうちにビーチバレーとはかけ離れたゲームになったりして盛り上がりました。

この日まで何度も海に来ましたが、エンシニタス市のビーチにはゴミや流木は一切なく、素足で走り回ることができました。この他にも、お店では一切ビニール袋を使わず、紙袋を使うようにするなど、市全体で環境保全に力を入れているんだなあということを感じました。わたしたちも見習うべきところだと思いました。

その日の昼食は、ピザでした。日本のピザとは大きさも具材も違い、チーズがたっぷりとかかっています。果物が入っているピザもあり、おいしかったです。夜は、またいつもの2家族で、車で50分ほどかけてサンディエゴまでハンバーガーを食べに行きました。そこは、店に入った瞬間から1990年代のムードが漂っており、店員さんの髪型がリーゼントだったりアフロだったりしていて、その雰囲気だけでおなかいっぱいになるくらいの楽しさでした。

このお店で食べたハンバーガーは、正真正銘のアメリカンサイズで大きかったです。どのメニューも日本のSサイズの3倍はあって、びっくりしました。帰りがけにかわいらしいお店があり入ってみると、絵付けやキャンドル作りを体験できるお店でした。そこで、みんなでキャンドルを作ることになり、好きな香りをつけたり色をつけたりして大きいオリジナルキャンドル作りしました。完成したときは、大きすぎて持ち帰るのが大変かとも思いましたが、今思えば、思い出を形に残すことができよかったです。

6日目の朝。ホストファミリーと過ごす最後の日となりました。朝から3人で、朝食を食べに行きました。朝食をとりながらまだ帰りたくないなあ強く思いました。

昼からは、ジャパニーズフェスティバルがあり、ライブビデオ会議では、久しぶりに日本の家族と交流することができました。お母さん達は朝早くから市役所に行きスタンバイしてくれていたそうで、短い時間でしたがホストマザーを紹介したり話したりすることができ、楽しかったです。

夕方は、派遣生とホストファミリーのみなでお別れパーティーがありました。新しくできたばかりというとても大きくてきれいな公園で、みんなで『色つき鬼』や『だるまさんが転んだ』など、日本の遊びを一通りした後でご飯を食べました。

アメリカでは、食後のデザートによくクッキーを食べるそうで、キャンディーやクッキーがたくさんありました。その後、みんなでサッカーをして遊び、最後には、日本人対アメリカ人で試合をしました。日が暮れるのも忘れて1時間以上みんな夢中でボールを追いかけていました。最後に楽しい思い出ができてよかったです。

家に帰ると、ホストマザーが、わたしのために映画のDVDを買ってきてくれていました。『怪盗グルーの月泥棒』です。わたしが初日に映画が好きと言ったのを覚えてくれていたのです。本当にうれしかったです。映画はもちろん英語で字幕もなかったけど、ホームマザーが隣で笑っていて、それを見ているだけで笑顔になれたし、雰囲気だけでもおもしろさが伝わってきました。アメリカ人の笑いの壺は浅いようで、ホストマザーは、ずっと笑っていました。

二人だけの夜でしたがとても楽しく、その夜は、なかなか眠れませんでした。明日お

別れしなければならぬと思うととても複雑な気持ちになりました。

そしてお別れの日。最初の訪問地であるエンシニタス市役所に集合しました。

そこで、ホストファミリーや友だちにお別れをしました。ホストファミリーに感謝の気持ちを告げると思わず涙があふれてきて、お別れするのがとてもつらかったです。それからバスに乗り市役所をあとにしましたが、みんなバスが見えなくなるまで手を振って下さり、うれしかったです。

わたしがこのホームステイでいちばん印象的だったことは、エンシニタスに人たちは、人を国籍や見た目の違いにとらわれることなくとてもフレンドリーに付き合ってくださいました。ホストファミリーももちろん、自分の家族同然に接してくださいました。

私は、今まで外国の人と接することが何度もありましたが、外国人と思うだけで構えてしまうところがありました。今回のホームステイでそんな自分の行動を振り返ることができました。言葉や文化が違ってても人の心は変わらないんだあとということを身をもって感じる事ができました。このことは、これからのわたしの人生においてとてもプラスになることだと思います。

また、一緒に行った6人の派遣生と仲良くなれたこともよかったです。一緒に研修をしているうちに、一人一人のよさが分かるようになり、自分の考えを自信を持って伝えられる人たちがばかりで、とても楽しかったです。今回のホームステイが楽しく充実したものになったのもみんなのおかげだと思っています。これからもこの出会いを大切にしていきたいです。

最後に、この事業の機会を与えて下さった天草市・エンシニタス市の市役所の方々、ホストファミリー、引率して下さった桑畑先生、中学校の先生方、そして両親に感謝しています。

このような体験ができ、わたしの世界観はとても広がりました。そしてもっと英語力を上達させ、いつか留学して外国の人と交流したり、外国と日本の架け橋となれるような仕事に就きたいと思うようになりました。

中学生最後の夏、わたしの最高の思い出となりました。

ありがとうございました。



▲女子会☆



▲オールドタウンにて



▲ジャパニーズフェスティバル



▲乗馬体験



▲みんなでハイキング



▲最後の晩餐



▲ホストファミリー

『 姉妹都市交流事業を終えて 』

牛深中学校 教諭 桑畑 剛太

【はじめに】

天草市の姉妹都市であるエンシニタス市は過ごしやすい気候に恵まれた、美しい街であった。人々も温かく友好的で、この10日間の研修では、多くの素晴らしい出会いに恵まれ、実りの多い10日間となった。

今回の交流事業への参加が決まってから出発の日を迎えるまで、天草市の代表生徒6名を率いて研修するにあたり、とても大きな責任を感じていた。しかし、事前研修で代表生徒ひとりひとりと話をしていく中で、生徒たちの具体的な目標と大きな希望を持って研修に臨む心構えを知るにつれて、頼もしさと安心を感じることができた。私自身も、彼らの言葉を聞いて、この10日間の研修を成功させるために自分にできることをしっかりと果たしていこうと決心した。実際に現地では様々な活動をしていく中でも、生徒たちの主体的な取り組みや現地の関係者の方々の献身的な協力により、実りの多い10日間となった。6名の生徒たちも、私自身もかけがえのない経験と海外でなければ学べない多くのことを得ることができた。

1 エンシニタス市について

ロサンゼルス空港から車で2時間ほど移動し、エンシニタス市役所へ到着した。車中では、初めて見るアメリカの風景に興奮している様子もあった生徒たちも、しばらくすると長旅の疲れからか、皆眠っていた。市役所では、それぞれのホストファミリーと市役所の方々からの大歓迎を受けた。私たちひとりひとりの名前が書かれた手作りのウェルカムボードや、天草市とエンシニタス市の姉妹都市交流の横断幕なども準備してくださり、たいへん嬉しかった。そして何よりも嬉しかったのは、現地の方々が皆笑顔で私たちを歓迎してくれたことだ。事前研修でALTの先生方から、「アメリカ人は日本人よりも、ずっとフレンドリーだから、驚かないように」と言われていたが、後で生徒たちに聞くと、「いきなりハグされてびっくりしました」、「とても距離感が近かったです」という答えも返ってきた。現地の方々との素晴らしい出会いのおかげで、私たち7名は前向きな気持ちで現地での生活をスタートさせることができた。

今回私たちをもてなしてくださったの方々の中には、この姉妹都市交流プログラムを通じて、天草市を訪れたことのある方や、研修生として天草市を訪れたことのある学生の家族の方もいらした。彼らは一様に、「天草はとてもいいところだ。」「もう一度行ってみたい。」と伝えてくださった。天草市とエンシニタス市は遠く離れているが、隣町のことのように親近感を持ってくれており、たいへん嬉しく思った。

今回の交流事業で何よりも強く感じたのは、エンシニタス市の方々の、「違い」に対する大らかさだ。私たちはエンシニタスではいわゆる「外様」である。しかし、そ

んな私たちに対して、彼らは一切の壁や距離感を見せることなく近づいてくれ、接してくれた。

2 現地での活動

7日間の滞在で多くの活動を計画してくださり、私たちは貴重な体験ができるとともに、本当に楽しませていただいた。以下に、私たちが体験した主な活動とその内容を書こうと思う。

- ・ 市内観光・・・エンシニタス市の市街地を徒歩で移動し、様々な観光名所を訪れた。初めにムーンビーチへ行った。平日にも関わらず、多くの人を訪れていることにも驚いたが、一番の驚きはその広さであった。南北に伸びる海岸は、その終わりが見えないほど伸びており、天草市内の海岸とは比べ物にならないほど広がった。その後オールドスクールという、エンシニタス市内でもっとも古い学校の跡地を訪れた。底ではエンシニタス市の歴史について学ぶことができた。セルフリアリゼーションガーデンズには、美しい草花がありたくさんの人が瞑想をして心を落ち着ける場所であった。他にも様々な場所を訪れ、エンシニタス市について知ることができた。
- ・ サンディエゴ観光・・・エンシニタスから電車で30分ほど移動するとサンディエゴへ到着した。リゾート地のような風景の続くエンシニタスと違い、サンディエゴは高層ビルが立ち並び、都会の町並みであった。午前には、水陸両用バスに乗り、サンディエゴ市内を観光した後、サンディエゴ湾へ入り、アシカや様々な海鳥に出会った。また、サンディエゴにはアメリカ海軍の施設もあり、軍艦等も見ることができた。その後、オールドタウンという観光地へ向かった。そこは、メキシコからの移民が作った昔の町並みを再現した施設で、多くの観光客が訪れていた。昼食にメキシコ料理を食べ、施設内を思い思いに見て回った。アメリカの多様性を感じることもできた。
- ・ 乗馬体験・・・二頭の馬に餌をあげたり、ブラッシングをしたりしてふれあい、その後実際に乗馬体験を行った。生徒たちは皆怖がることなく、貴重な体験を楽しんでいた様子であった。
- ・ サーフィン体験・・・出発前から、生徒たちの間で話題に挙がるほど、サーフィン体験は楽しみにしていた活動の一つであった。インストラクターの方の指導を受け、体験を行った。生徒たちは皆、初めての挑戦でなかなかうまくいかなかったようだが、回数を重ねるごとに、少しずつ波に乗れるようになってきた。「明日

もサーフィンがしたい」という声も聞かれ、印象的な体験になったようである。

- ビーチバレー・・・エンシニタスのビーチはとても広く、その中には5つほどのビーチバレー用コートもあった。インストラクターの方にアドバイスをを行いながら、練習をし、その後、生徒たちと同世代の現地の子どもたちと試合を行った。スポーツを通して、現地の子どもと交流することができた。
- ダブルピークパーク・・・サンディエゴの街が一望できるとても眺めのよい丘だった。1ヶ月ほど前に起きた山火事で、自然は少なかったが、リラックスできる場所で、生徒たちは思い思いのポーズで写真を撮っていた。
- ジャパニーズフェスティバル・・・エンシニタス図書館で行われたジャパニーズフェスティバルでは、日本の合唱グループによる歌や、琴の体験、日本舞踊、和服のファッションショーなどが行われていた。他にも、日本関連の書籍を紹介するコーナー等もあり、多くの方々が来場されて楽しんでいた。その中で、行われたライブビデオ会議では、生徒たちが家族と話をすることができた。生徒たちの多くは、照れを感じてそっけない態度をとっていたが、感想を聞くと、「家族の顔が見られてよかった」、「みんな元気そうで安心した」などと、好意的な感想が聞けた。来場されていた方々も、天草市と交流できたことを喜んでいいる様子であった。
- お別れ夕食会・・・エンシニタスコミュニティパークに、生徒たち、ホストファミリー、エンシニタスの担当で食事を持ち寄り、お別れ夕食会を行った。芝生のきれいな公園で、生徒たちはホストシスター、ブラザーたちとボール遊びなどをして楽しんでいた。たった5日間の滞在であったが、素敵な絆ができたことを感じる事ができた。

3 生徒たちの様子

出国から帰国まで、10日間の研修であったが、生徒たちはあらゆる場面で生き生きとした表情で活動に取り組んでいた。上述した以外にも多くの活動をさせていただき、そのどれもが生徒たちの成長につながったように思える。ホームステイ先のホストファミリーの方々にもよくしていただき、充実した日々を送ることができたようである。

初めはなかなか自分たちから話しかけることができなかつた様子であったが、ホストファミリーの方々のフレンドリーな態度が生徒たちを安心させ、少しずつ距離が縮まり、エンシニタスを離れるときには、「もっと一緒に過ごしたい」、「また必ず訪れ

ます」など、別れを惜しむ声が多く聞かれた。また、今回研修に参加した6名の生徒たちのつながりが強く、様々な場面で互いを支え合い、協力し合う姿が見られた。出発前の2度の事前研修の中で、交流を深めたことが本研修の成功につながったと思っている。

【おわりに】

天草市の姉妹都市であるエンシニタス市はとても素敵な街であった。訪問前には地理的な知識、文化的な背景等を学んでいたが、実際に現地で体験したことが何よりも心に残っている。きれいな街並み、恵まれた自然、温かい人々、そのどれもが私たちの大切な思い出となり、そして学びにもつながった。また、エンシニタスの方々が天草を身近な存在として感じてくださっていることにも感動した。姉妹都市として、私たち天草に住む者としても、同様にエンシニタス市を身近に感じることができるよう、今回の学びをできるだけ多くの人々に伝えていきたいと思う。

最後になるが、今回の貴重な経験ができたことに心から感謝を述べたいと思う。このような機会を与えてくださった天草市、及び教育委員会の方々を初め、すべての関係者の方々に深く感謝を申し上げたい。



Gota Kuwahata
English teacher
Ushibuka Junior High School
Amakusa

Sister City Educational Exchange Project
Report on the Student Delegation to Encinitas; Sister City of Amakusa

Introduction

Our sister city, Encinitas was a wonderful city. The weather was nice and the town was so beautiful. The people there were always friendly and the period of this program was a satisfying time and that was filled up with great meetings.

Until the day we left, I was very nervous, feeling that it was a big responsibility to take six representative students from Amakusa to another country. However, when it came to time to leave, I didn't have to worry about it at all because all the students behaved well the entire time of the workshop. They said about their own concrete aims of this project and showed their preparations for it. Listening to them, I also determined to carry out my responsibility during this trip. Thanks to the students' positive behavior and the hospitable welcome and cooperation of people in Encinitas, we had a very precious experience.

1 About Encinitas

We arrived at the Encinitas City Hall after two hours driving from Los Angeles Airport. On the way, students looked excited to see the scenery of the West Coast and then fell asleep they were exhausted from our long trip. At the city hall, many people welcomed us. Each of our host families held up a signboard which had our names written on them. We were so excited to see them. In addition, we were so glad to see that they welcomed us with big smiles. Before leaving Japan, we got a lecture by some ALTs; Assistant Language Teachers who teaches English in Japan. They said to us, "Don't be surprised at American people. They are much more friendly than Japanese." I asked some students about the first impression later on. One of them told me that the people were surprisingly friendly. Thanks to the wonderful meeting with them, we got off to a good start of the days in Encinitas.

Some of the people who welcomed us had been in Amakusa as students or chaperons of the delegation. Those people said to us, "Amakusa is a nice place," or "I want to visit Amakusa again." Amakusa and Encinitas are far apart but I found that

they felt like a neighboring town. I also found that people in Encinitas were tolerant of “differences”. In Encinitas, we were “outsiders”, but they didn’t show us any distances or barriers at all.

2 Activities in Encinitas

The people in charge of this program made a satisfying plan so that we could have a great time, so we really enjoyed the seven days there. I would like to explain those activities below.

- City tour... We walked around in the downtown of Encinitas and visited many places. First we went to the Moon beach. Though it was a weekday, there were so many people at the beach. And we surprised at the width of the beach. It was much bigger than any beaches in Amakusa. Then we visited Original School House and learned about the history of Encinitas there. In Swami garden, a very beautiful place, many people were meditating and composing themselves. We also visited and enjoyed many places.

- San Diego tour... We arrived at San Diego after riding on a train for about 30 minutes. Students were surprised at seeing a lot of high buildings there. In the morning, we enjoyed Amphibious boat tour of downtown San Diego and Bay. We saw some seals and birds at the bay and also some Navy sites. After that, we went to the Old Town. It’s a kind of parks reconstructed an old town of immigrants from Mexico. We had Mexican food for lunch and enjoyed shopping there.

- A horseback riding... We fed and brushed two horses. After that, students enjoyed a horseback riding. They were not afraid of doing it and enjoyed that rare experience.

- Surfing... One of the activities that students had waited for a long time to do was surfing. We were taught how to do it by the Instructors, and instantly tried it. For all the students it was their first time, so they could not stand on the board at the beginning, but gradually they progressed and they could handle it pretty well after about 30 minutes.

- Beach volleyball... There were 5 beach volleyball courts at the Moon beach. At first we practiced beach volleyball under the instructor’s advice. Then, we played a game against local boys and girls. Students really enjoyed it.

- Double peak park... The view from the hill was wonderful. From that place, we could look over the whole of San Diego. Students took pictures of themselves posing in many ways.

- Japanese festival... We met many Japanese people and saw many things. Traditional Japanese songs were sung by a chorus group, and shakuhachi, koto, and

Japanese dances were displayed there. And many Japanese books were introduced in the library. In the end of the festival, we had a Video Conference between Amakusa and Encinitas. Students talked with their families on a videophone. They looked shy but they said, "I was happy to see their faces." People at the hall also enjoyed the conference.

• Farewell party... We had a farewell party at Encinitas Community Park. Students and their host families got together with some dishes. We enjoyed having delicious food, talking and playing with balls. I felt that they made a good relationship through the five days.

3 Students' growth

During the program, students' expressions were lively. We experienced many things outside of the things I showed above, and through all the activities, they brought up themselves. Thanks to the kindness of host families, they spent really good days. At first, they could hardly talk to their host family. However, friendly and kind ness behavior of their host family made them relaxed and gradually the distance between them got closer. When they left Encinitas, I heard that they said, "I want to stay here," and "I will surely come to Encinitas again." Moreover throughout this program, the relationship among the 6 students strengthened and they cooperated and helped each other in many situations.

Conclusion

Our sister city, Encinitas, was a really nice city. We knew a few things about it like geographic features until we were there, but we learned much more about it throughout various kinds of activities. Beautiful scenery, rich nature and warm people, everything we saw is a precious memory and taught us many things. People in Encinitas think Amakusa is similar to it. We would like to show our surroundings about the city and connect more tightly as a sister city. I hope both cities will have more open relations from now. We need to act as a bridge between the cities.

I am thankful to many people that we had a great and precious time in Encinitas. I would like to express my appreciation to all the people involved, especially the city of Amakusa and the Amakusa Board of Education.



天草市教育委員会

教育総務課